

## 2022国際医用画像総合展（ITEM2022）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大予防対策に於ける現場運用マニュアル

搬入：2022年4月11日（月）～14日（木）

会期：2022年4月15日（金）～17日（日）

搬出：2022年4月17日（日）～18日（月）

2022年3月30日

一般社団法人日本画像医療システム工業会

# 展示会の概要

開催展示会：2022国際医用画像総合展（ITEM2022）

会期：2022年4月15日(金) 9:30 開会式～17:00  
16日(土) 9:30～17:00  
17日(日) 9:30～15:00

会場：パシフィコ横浜 展示ホール

展示社数：138社

来場者数（3日間の新規入場者数）：ITEM2019 22,138人  
ITEM2021 6,209人

## 学術大会概要

第81回日本医学放射線学会総会

会長：村上 卓道  
神戸大学

会期：2022年4月14日（木）～17日（日）

会場：パシフィコ横浜会議センター・アネックスホール

第78回日本放射線技術学会総会学術大会

大会長：白石 順二  
熊本大学

会期：2022年4月14日（木）～17日（日）

会場：パシフィコ横浜会議センター・アネックスホール

第123回日本医学物理学会学術大会

大会長：西尾 禎治  
大阪大学

会期：2022年4月14日（木）～17日（日）

会場：パシフィコ横浜会議センター

# 延期および中止を判断する基準・プロセス

## 判断基準

2022年3月22日付 パシフィコ横浜作成の

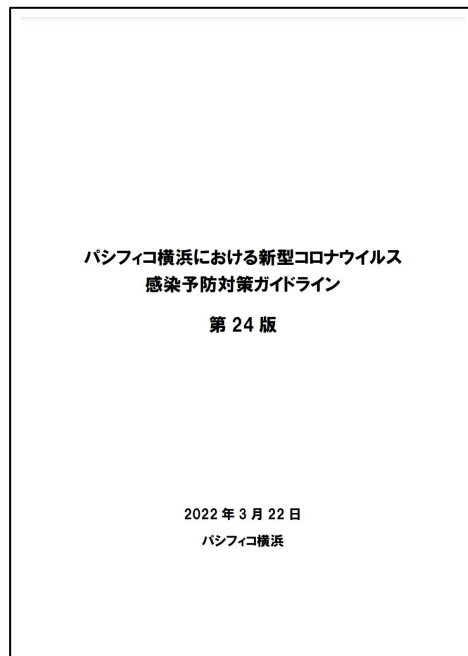
「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン 第24版」

によるガイドライン遵守の徹底等の対策を施すことにより、イベントの開催は可能であることを確認した。

ガイドラインの順守の徹底  
追跡システムの導入、または名簿作成など追跡対策の徹底。

## 延期および中止を判断する基準

全国に緊急事態宣言が発出された場合。地域限定の場合は要検討。  
官公庁、自治体から中止要請が来た場合。  
一般社団法人日本ラジオロジー協会（JRC）として開催不可能と判断した場合



[https://www.pacifico.co.jp/Portals/0/resources/promoter/dl/pdf/guideline\\_covid\\_ver24\\_20220322.pdf](https://www.pacifico.co.jp/Portals/0/resources/promoter/dl/pdf/guideline_covid_ver24_20220322.pdf)

## 役割分担と責任範囲

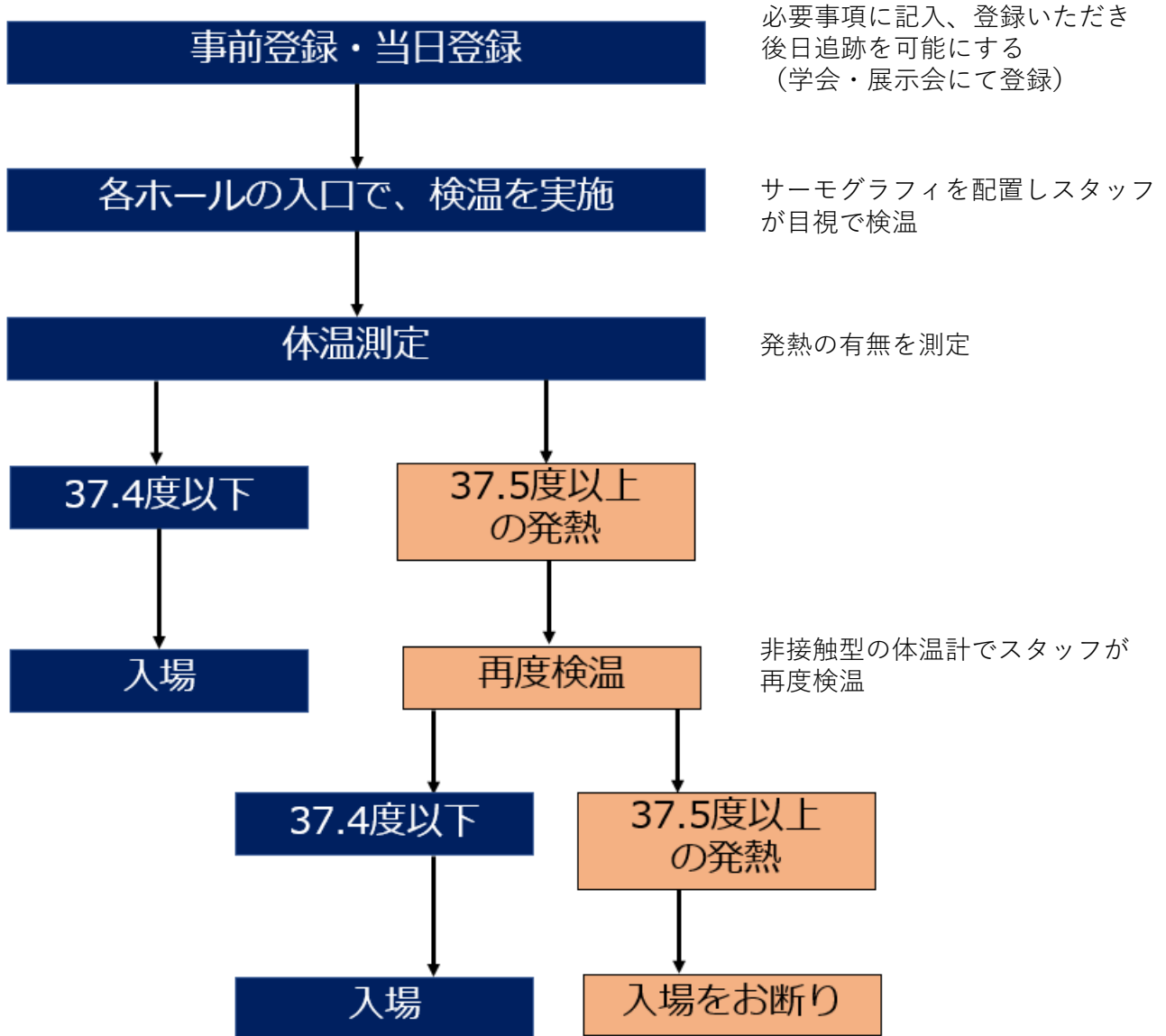
主催者及び運営者と会場はコロナ発生を未然に防ぐために、お互い協力して最大限の事前対策を行う。

また主催者と会場は、新型コロナウイルス発生予防および発生時の役割分担（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策組織編成表）によって、3者は誠意をもって対応する。

発熱者やコロナ感染症の疑いのある方が発生した場合、次ページ以降の対応フローに基づき対策を協議する。

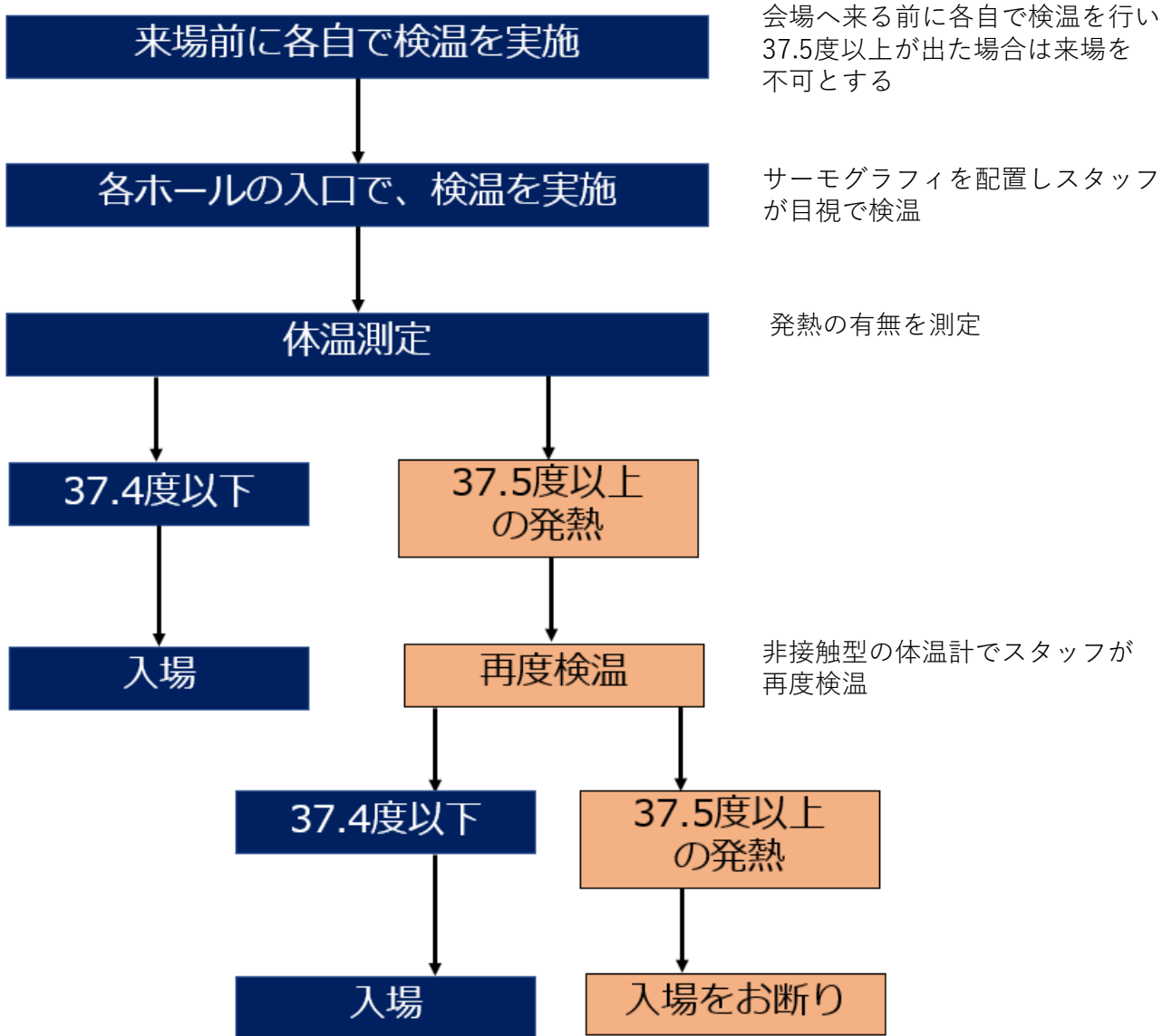


## 来場者の入館フロー



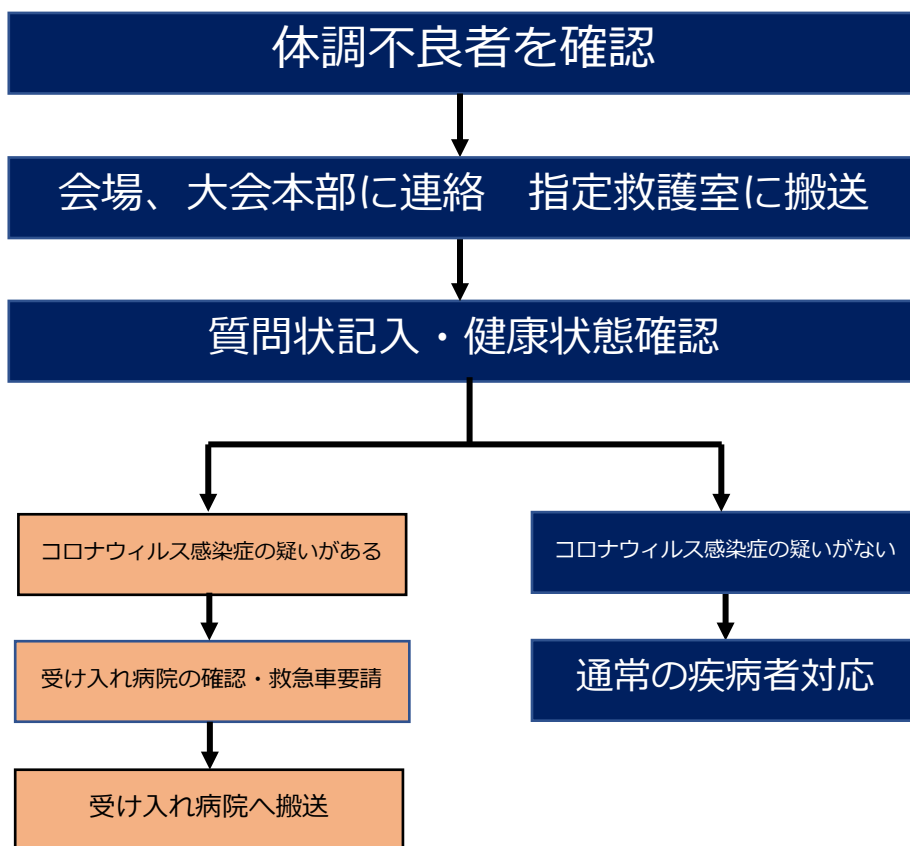
発熱以外に咳、咽頭痛、息苦しさ等の症状が認められる方、その他、体調が優れない方（味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を強く感じる時などを含む）は入場をご遠慮頂きます

## 出展者及び関係者の入館フロー



発熱以外に咳、咽頭痛、息苦しさ等の症状が認められる方、その他、体調が優れない方（味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を強く感じる時などを含む）は入場をご遠慮頂きます

## 体調不良者が発生した場合の対応フロー



- ※ 詳細に関しては2022年3月22日付 パシフィコ横浜作成の「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン 第24版」より抜粋（次ページ参照）
- ※ 新型コロナ感染の疑い、等の問題発生時の判断は展示会事務局を通して会場・大会本部に連絡して判断を頂く。

# パシフィコ横浜作成の「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン 第24版」より抜粋

## II. 感染疑い発生時の対応

催事関係者（来場者含む）が、当施設滞在中に主催者に発症を申し出た場合は、弊社に連絡いただくとともに、当該者を指定救護室に移動させてください。

①疑いのある方は、「指定救護室」に移動いただきます。

### 救護室一覧

施設	常設救護室	指定救護室
会議センター	1 F 救護室	プラザ控室
国立大ホール	1 F 救護室（N101）	
展示ホール、アネックスホール	1 F 救護室	
ノース	1 F 救護室	1 F メール室

※展示ホール、アネックスホールは状況に応じてノースの指定救護室も利用可

②指定救護室への同行者と処置について

- ・疑いのある方が発生した場合には、弊社の責任者および弊社警備員がマスク等の対策セットを持参のうえ、主催者とともに指定救護室へ同行いたします。
- ・救護室においては、主催者から疑いのある方に質問票（主催者にて用意。なければ弊社書式提供）に基づき、健康状態を確認します。また、その結果に応じて救急車の要請をします。
- ・疑いのある方が搬送された後は、救護室ほか必要場所についての消毒および清掃を実施します。

### 《対策セットの内容》

・マスク	・廃棄用ビニール袋
・ラテックスグローブ（手袋）	・非接触式温度計
・防護メガネ	・質問票
・消毒用ティッシュ	

③情報の集約と発信について

- ・陽性が確定した場合には、弊社内に社内対策本部を設置し、情報の集約と発信を行いますので、主催者とも連携させていただきます。



## 参加者の安全確保

### 出展社の入場制限（実施なし）

出展社スタッフ、ブース運営要員の人数制限は設けません。

### 感染リスクを抑えた入退場管理システムの導入

大規模イベント利用人数を遵守いたします。  
入場者・退場者数の管理（展示会開催時最大入場者数）として入場者カウントクラウドサービスを導入いたします。

展示会場各入口・出口にセンサーを設置し、入退場数をカウントし展示会場内滞留人数をリアルタイムで把握することにより利用人数の管理をいたします。



### 協力業者の入場対策実施

- ・ ブース敷設、装置搬入出時の作業員への入場に際して検温致します。
- ・ 検温確認済みのシール（日毎に違います。）を名札に貼って頂きます。
- ・ **出展社（協力業者含む）は、毎日事務局あてに名簿の提出をお願いいたします。**  
※名簿については、会期前にご案内いたします。

# 参加者の安全確保

## 注意喚起看板の設置

来場者・出展者へのマスク(不織布)の着用、手洗い励行、アルコール消毒の励行、3密の回避等に注意喚起看板の設置し関係者、来場者に注意を促します。

**2022国際医用画像総合展**  
ITEM 2022 (The International Technical Exhibition of Medical Imaging 2022)

**設営関係者の方**  
During set up period

**検温済**  
本展示会は「検温済シール」の無い方のご入場をご遠慮いただいております。検温にご協力をお願いします。

Temperature-measured sticker is needed for entering the exhibition halls. Please cooperate with the measurement.

**新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします**  
Please cooperate in the prevention of corona virus infection.

- マスク着用** Wear Mask
- 体温計測** Measure Temperature
- 手指消毒** Use Alcohol Disinfectant

※ スタンド

IJ+CP 600角 x1

**2022国際医用画像総合展**  
ITEM 2022 (The International Technical Exhibition of Medical Imaging 2022)

**間隔を空けてお並びください**  
Please keep distance while queuing up.

**ソーシャルディスタンス**  
にご協力ください  
Keep distance

※ スタンド

「飛沫防止注意看板」 W1940xH1560mm x1

**新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします**  
Please cooperate in the prevention of corona virus infection.

会場に到着される方は、政府より発行された新型コロナウイルス感染症対策アプリ(COCOA)ダウンロードおよび、神奈川県「LINEコロナ」へのご登録をお願いします。

**マスク着用** Wear Mask

**体温計測** Measure Temperature

**手指消毒** Use alcohol disinfectant

**次の方の入場はお断りさせていただきます**  
Please take notice that this service cannot provide medical advice.

- 発熱のある方  
stands with fever
- 咳・咽頭痛・発疹などの症状が認められる方  
stands with throat pain, cough or difficulty breathing
- 保健所の健康相談下にある方  
stands who are under watch of health center
- 政府が指定する期間に渡航歴がある方  
stands who have traveled within the government-specified period
- その他、体調がすぐれない方  
stands that feel ill in any way

# 参加者の安全確保

## 消毒液等の会場設置

### 消毒薬設置場所と本数（下部図面に記載）

会場入口  
休憩スペース  
など

### 消毒液残量確認

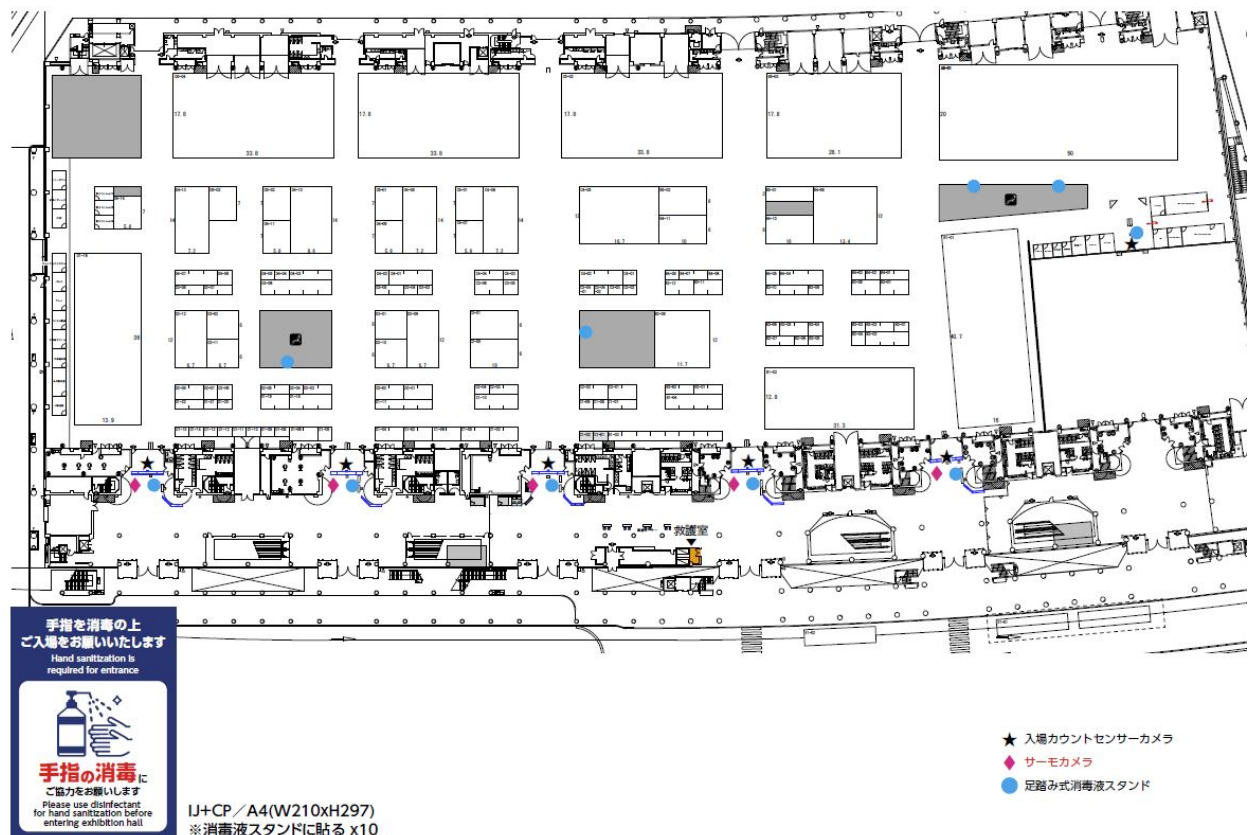
1時間1回程度確認。消毒薬の残量が半分以下になった場合補充。

### 看板設置

入口に入退場の際は、「係員の指示にしたがって、手指を消毒の上、入退場をお願いします。」の旨のサイン設置。

### ★消毒液設置場所

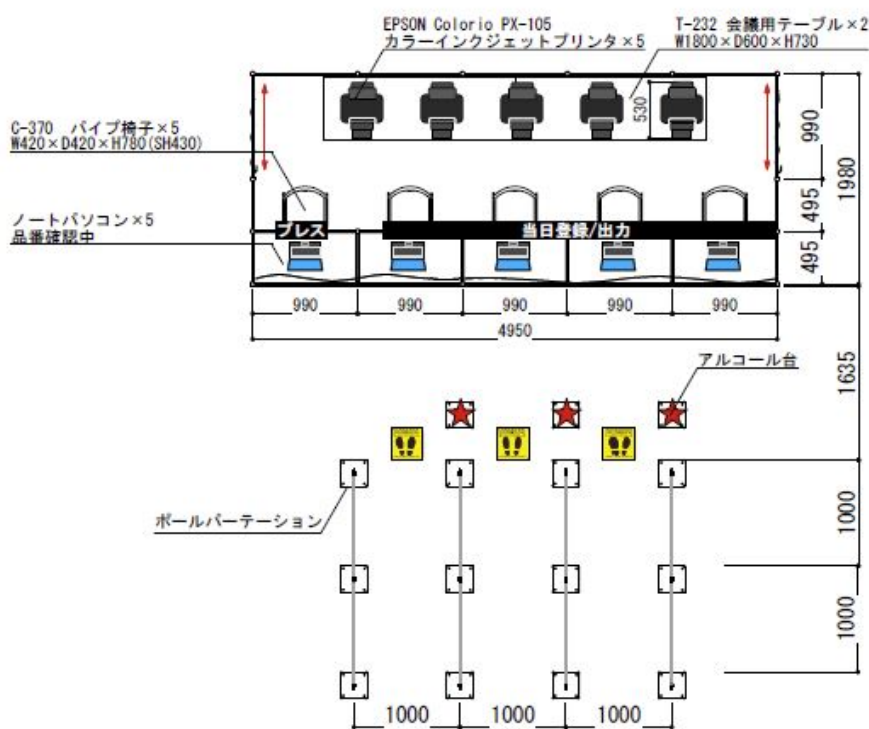
※休憩スペースに関しては、非接触式の消毒スタンド設置



# ソーシャルディスタンスの確保

## 登録所における、ソーシャルディスタンスの確保

2階展示会登録所においてチェーンパーテーションにて待機列の設置。  
床面には間隔目印を設置し、ソーシャルディスタンスの確保。



「受付サイン」 U+CP  
W460xH140mm ※紙足付き

**当日登録/出力**  
REGISTRATION x4

**PRESS** x1

「足元サインシート」  
U出力 W300xH300mm

こちらでお待ちください  
↑ SOCIAL DISTANCE ↓

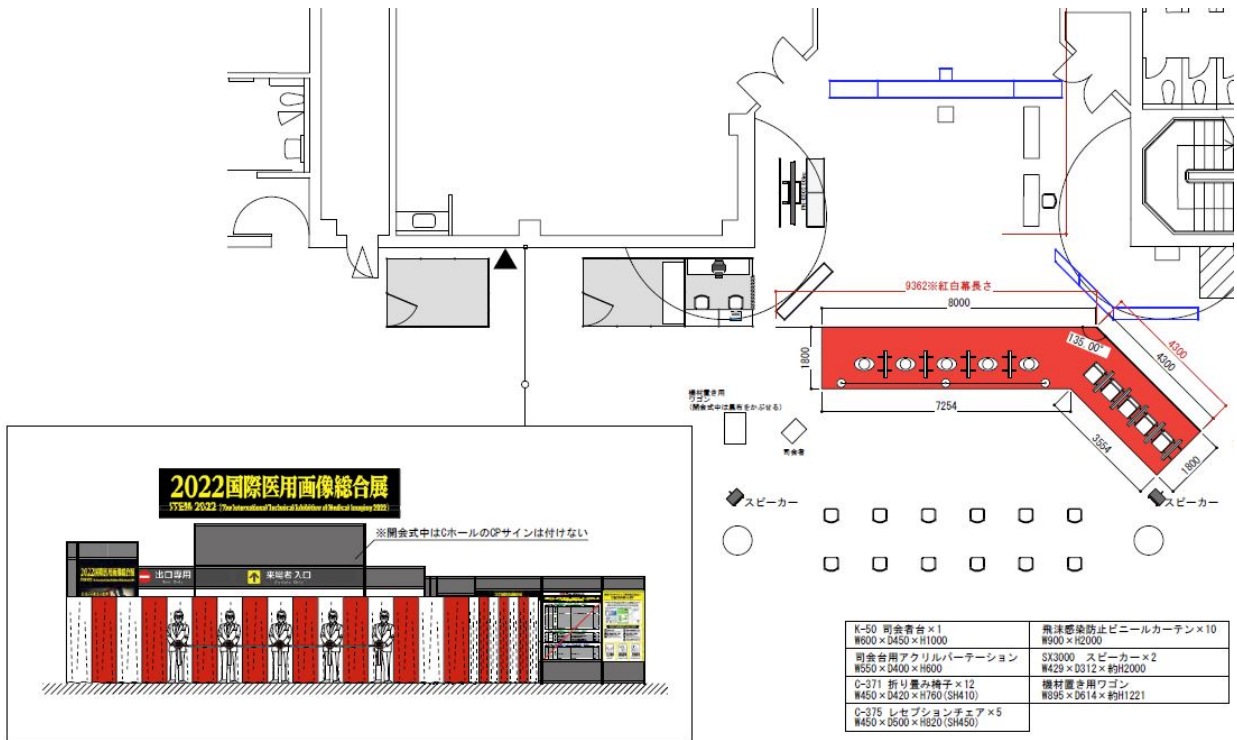
x5

# ソーシャルディスタンスの確保

## 開会式における、ソーシャルディスタンスの確保

登壇者・司会者の演台に飛沫防止のシールドを設置。  
 登壇者と聴講最前列の距離は2m以上の間隔を空ける。  
 登壇者間には飛沫防止のシールドを設置。

客席に関しても間隔を開けて配置。  
 立見席に関してもソーシャルディスタンス確保に配慮し床に立ち位置を表記した印を設置。

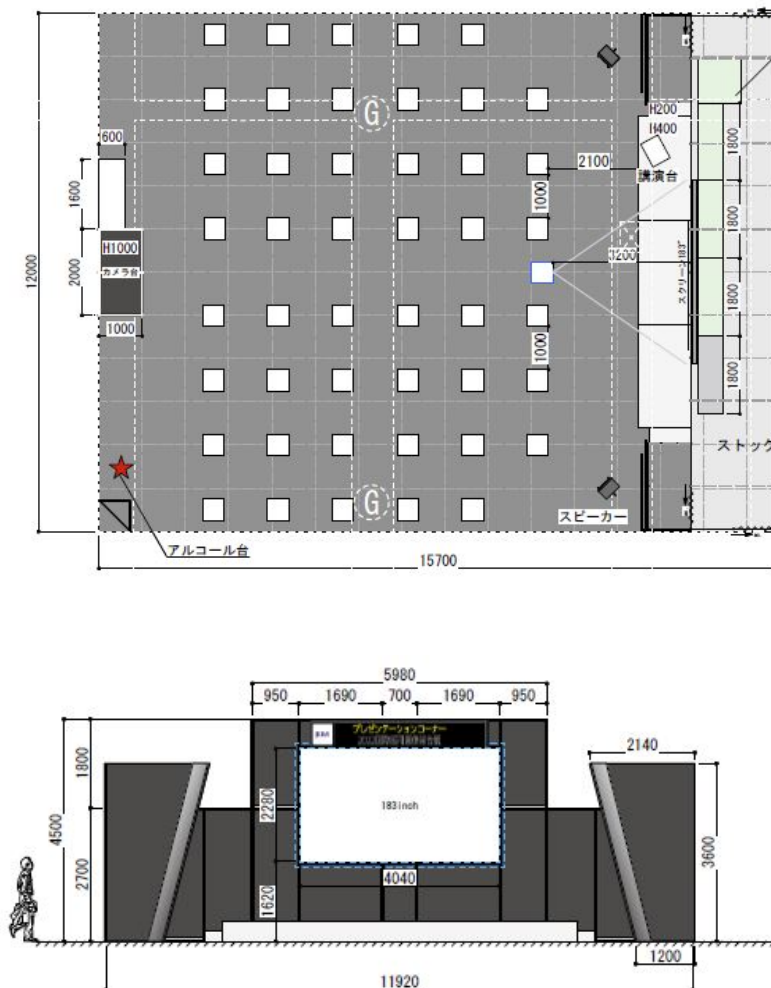


# ソーシャルディスタンスの確保

## ステージ企画エリアにおける、ソーシャルディスタンスの確保

講演者の演台に飛沫防止のシールドを設置。  
講演者と聴講最前列の距離は2m以上の間隔を空ける。  
客席に関しても間隔を開けて配置。

講演時に使用したマイク(不織布)、PC、演台は、定期的に除菌シートで消毒します。



# ソーシャルディスタンスの確保

## ブース間、会場内通路幅の十分な距離の確保

### 小間割図参照

一般社団法人日本展示会協会発行「展示会協会におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」により、3m以上の通路幅を目安としたレイアウトを実施。



## ソーシャルディスタンスの確保

### スタッフ配置場所、休憩コーナーへの飛散防止用透明アクリルパネルの設置

#### 休憩コーナー

ソーシャルディスタンスを確保したテーブル椅子の配置。  
テーブル中央に飛散防止用透明アクリルパネルもしくは飛散防止用シートの設置。

#### 施工時協力会社カウンター

協力会社スタッフはマスク（不織布）を装着、スタッフ前面への飛散防止用透明アクリルパネルの設置。





# 安全対策

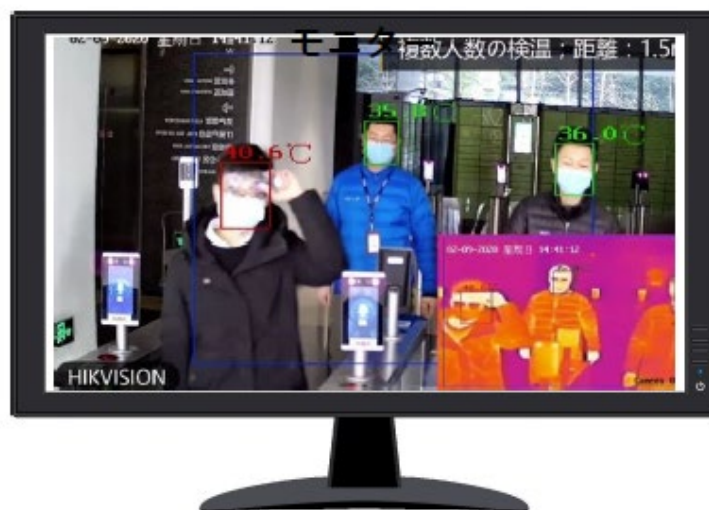
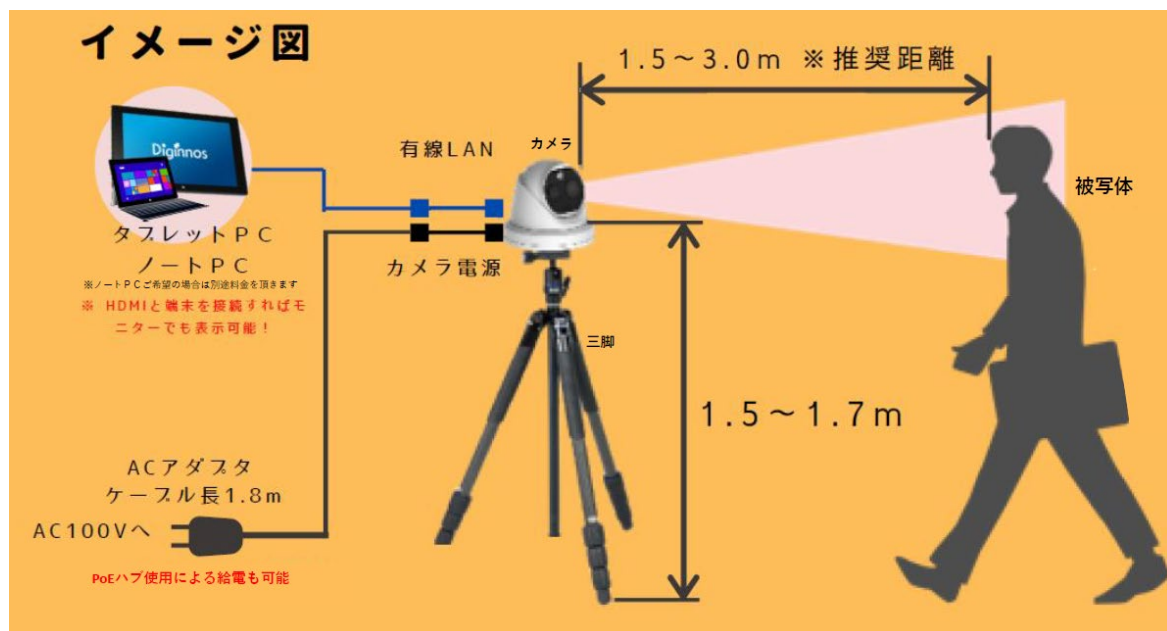
## サーモグラフィーでの入場口全員検温の実施

### サーモグラフィー設置場所

会場入口

### 看板設置

「検温を実施しています、ご協力をお願いします。」の旨の看板設置。



# 安全対策

## 主催者の行うべき対策

### 搬入時及び搬出時

マスク着用チェック；自社・施工関係・運送会社などの全入館者のマスク着用を必ず確認し、未着用者への着用依頼の実施。

※マスクは品質が確かな物、できたら不織布製。  
着用いただけない場合は退場を依頼することがございます。

サーモグラフィーにより入館者に対する検温の実施、消毒液の設置。

展示ホール内換気のため搬入出口の常時開放の徹底。

施工中の密防止、手指消毒、手洗いの励行等について、必要に応じ館内アナウンスの繰り返し実施。

### 会期中

入退場管理システムにより、展示会場内滞留人数をリアルタイムで把握。

展示会開催時最大入場者数を超える際には、入場制限実施。

床面シール等貼付により待機列で人がスペースをあけて並ぶように工夫。

全来場者の登録情報(個人情報)を取得し感染発生時に備えることを実施。

来場者にマスク（品質が確かな物、できたら不織布）着用・手洗い励行、接触確認アプリCOCOA、神奈川県LINEコロナお知らせシステムの稼働などのサイン表示を入口付近に設置。

展示ホール入口及び主催者がホール内に設置した休憩スペースなどにアルコール消毒液を設置。またホール内滞在中の頻繁な手洗いと手指消毒を励行。定期的な見回りによる残量確認と補充及びテーブル・椅子などの清拭消毒。

入館者全員に対しマスク着用の目視確認と未着用者にマスク着用依頼の実施。

※マスクは品質が確かな物、できたら不織布製。  
着用いただけない場合は退場を依頼することがございます。

サーモグラフィーにより入館者に対する検温の実施、消毒液の設置。

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いにも十分注意しながら、来場登録者の名簿を適正に管理する。

展示ホール内換気のため、運営・安全面での支障がない範囲での換気。

密注意、手指消毒、手洗い励行アナウンスの実施：繰り返し行い注意喚起。

# 安全対策

## 出展者の行うべき対策

### 全出展者に下記諸注意の依頼及び徹底

#### 搬入時及び搬出時

マスク（品質が確かな物、できたら不織布）着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

自社ブースに設営、搬入等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。  
日別名簿書式（別途配布）4月11日～14日の設営、搬入終了時及び17日～18日搬出終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上、退館。

#### 会期中

マスク（品質が確かな物、できたら不織布）着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

接触確認アプリCOCOAのインストール、神奈川県LINEコロナお知らせシステムのスキャン、稼働の徹底。

スタッフ全員のマスク（品質が確かな物、できたら不織布）着用の徹底と、商談や説明時なども含め大声での会話を控える。

自社ブースに説明等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。  
日別名簿書式（別途配布）4月15～17日終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上退館。  
**名簿は自治体、保健所からの提出要請があった場合にはその指導に従うこととなります。**

自社ブース内の高頻度接触部位（出展製品、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、キーボード、タブレット、タッチパネルなど）を、各社責任をもって、毎日複数回消毒。  
商談に使用するテーブル・椅子や製品などは商談毎に消毒。

自社ブースの来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作り出さないよう、可能な限り配慮する。

外出や商談後にスタッフの手指の消毒を徹底。

閉館時間になったら速やかに商談を終えて来場者に退館を促す。

# 安全対策

## 来場者に促すべき対策

商談希望の出展者との商談日時は極力事前に調整。

当日の検温と体調の確認をし、発熱や体調不良があれば来場を自粛。

会場ではマスク（品質が確かな物、できたら不織布）の着用と頻繁な手洗い・消毒を実施し、密になり得る状況での長時間の商談は避ける。

接触確認アプリCOCOAのインストール、神奈川県LINEコロナお知らせシステムのスキャン、稼働を強く推奨。

商談や訪問したブースについては可能な限り日時・相手先担当者等について記録。

注意（マスクの不着用、大声を出す等）に応じない方には退場措置を取らせていただきます。

# 安全対策

## 廃棄物の処理、館内巡回清掃、消毒の徹底

### 清掃範囲

展示会共用部 パシフィコ横浜手配の清掃会社

主催者企画の集客場所…主催者手配の清掃会社

### 注意事項

清掃スタッフはマスク（品質が確かな物、できたら不織布）の着用を徹底。手袋を着用する場合には適切に交換を実施。マスクや手袋を脱いだら、手洗いまたは消毒液による手指消毒を実施。

休憩コーナー等は定期的に消毒作業実施。

# 安全対策

## 各種追跡、接触確認アプリのインストールの登録

会場入口付近には厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)のインストール、神奈川県LINEコロナお知らせシステムスキャンをお願いする看板を設置する。

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

**自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。**

厚生労働省  
**新型コロナウイルス接触確認アプリ**  
(略称：COCOA)  
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分らないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるアプリです。

○利用者は、感染者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受け取ることができます。利用者が感染することで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

iPhoneの方はこちら  
Androidの方はこちら  
詳しくはこちら

厚生労働省 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室

新型コロナウイルス接触確認アプリ 利用者向けQ&A

**問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。**  
利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォン近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分らないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーションがコンタクトトレーサビリティ（API）を元に開発されています。

**問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。**  
利用者は、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受け取ることができます。利用者が感染することで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

**問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。**  
スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で5分以上）を記録し記録します。記録した接触情報は、ご本人のスマートフォンの中のみ記録され、14日経過後自動的に削除され、14日経過後、自動的に削除されます。この記録は、感染者が外部に出ることはなく、利用者はアプリ削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

**問4 個人情報が収集されることはありませんか。**  
氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人情報が特定につながる情報は入力していません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、匿名化のうえ、ご本人のスマートフォンの中のみ記録され、14日経過後自動的に削除されます。行政機関や第三者が情報の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

**問5 他者情報を利用するのですか。**  
GPSなどの位置情報を利用することはない、記録することはありません。

**問6 他の利用者と接触を通知する目的がありますか。**  
ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態になった場合、接触して接触した可能性が異なります。機器の性能や周辺環境（ガラスや壁の厚さなど）、端末も所持する方向性の条件や状況により、計算する距離が実際と差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

**問7 利用したいでも中止できますか。**  
いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間の記録を削除できます。

**問8 アプリでは、どのような通知がありますか。**  
新型コロナウイルス感染症の感染者が、本人の同意のもと、感染者であることを登録した場合に、その感染者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の接触があった場合に通知されます。通知を受けた場合は、ご自身の状況に合わせて、検査場・検査外来等に検査を受けたい旨、検査の受診をご案内いたします。

**問9 新型コロナウイルス感染症の感染者がアプリで登録したら通知されますか。**  
利用者の通知は、1日1回程度となっております。アプリの登録のオン/オフによっては、すべて通知されない場合があります。なお、アプリの設定で通知をONにした上で、通知が来た場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

**問10 新型コロナウイルス感染症の感染者と接触されたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。**  
感染者と接触された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意を前提であり、任意です。登録しただけで、あなたと接触した可能性が分かる方が、検査の受診など保健所のサポートを受けたい旨、検査場・検査外来などに連絡が表示されます。

**問11 接触確認アプリの通知の可能性があるという通知を受けたい。**  
アプリの画面上に表示される手順に沿って、ご自身の状況に合わせて受けたい旨、検査場・検査外来などに連絡が表示される。検査の受診などをご案内いたします。

**問12 厚生労働省ではアプリで個人情報を共有して利用するのですか。**  
厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者に氏名・電話番号などの個人情報を入力したことはありません。

神奈川県

当事業所は、**感染症対策**として以下のことに取り組んでいます

- 仕切り設置または着席位置の工夫による飛沫防止
- レジ等仕切り設置
- 混雑時入店制限
- マスク等着用
- 手洗・手指消毒
- 発熱時入店制限
- 大皿等での提供を避ける

**New!** ○ 十分な換気

**New!** ○ 支払時キャッシュレスまたはコイントレイ使用

**New!** ○ 感染発生状況の情報提供

事業所名 **かながわ食堂 横浜みなとみらい本店**

LINE コロナ お知らせシステム

営業： 飯倉駅前  
住所： 横浜市西区みなとみらい2-5-57  
電話番号： 045-524-0107  
営業時間： 神奈川 本業  
発行日： 令和2年6月25日

神奈川県

**LINE コロナ お知らせシステム**

新型コロナウイルスへの感染が強く疑われるときに 保健所からお知らせします。

神奈川県 LINE 公式アカウント登録からお知らせまでの流れ

QRコードスキャン  
読み込み、「新しいLINE公式アカウントに接続」

メッセージが送信されると「新しいLINE公式アカウントに接続」

QRコードから登録

メッセージが送信されると「新しいLINE公式アカウントに接続」

システムからのお知らせ

QRコードから登録

メッセージが送信されると「新しいLINE公式アカウントに接続」

システムからのお知らせ